| 夏季特別企画 |

2018.7.21 |土| −9.2 |日|

会期中休館日なし

親子であそぶ!
土・泥・ねんど
つち　どろ

みんなであそぶプログラム

毎日実施
10:00−16:00 (11:30-12:30はお休み)

子どもも大人も一緒にいろいろな「土」のあそびに参加しよう。

●どろメイク　●土をみがく
●砂の絵　●石をならべる など

たべるあそぶプログラム

日曜日実施 11:00−12:00、
定員6組、当日30分前抽選

●どろアイス

アーティストプログラム

7月22日(日) 14:00−15:30、
当日30分前受付

アーティストの味岡伸太郎さんと一緒に土であそびます。

あつまるあそぶプログラム

土・日・祝日実施 14:00−15:00、
当日30分前受付

●どろ手どろ足 など

あいちこどもクリエイティブクラブ (ACCC)

第2回 あなをほる 参加者募集!

2日間、ただひたすらあなをほるあそびです。

日時：8月1日(水)、2日(木)
10:00−16:00
対象：小学4年生から中学生まで
(2日間とも参加できる方)
※高校生はボランティアとして参加可能です。
定員：15名程度
申し込み方法：電話またはメールで、参加者の氏名(ふりがな)・学年・性別・市町村・電話番号・メールアドレスをお知らせください。
電話：0561-63-1110
メールアドレス：accc@acc-aichi.org

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。

愛知県児童総合センター

〒480-1342
愛知県長久手市茨ケ廻間乙1533-1
TEL　0561-63-1110
E-mail info@acc-aichi.org
http://www.acc-aichi.org/

開館時間＝9:00−17:00
入場料＝中学生以下無料、その他300円

7月の休館日＝2、9、17日
8月の休館日＝なし
9月の休館日＝3、10、18、25日
10月の休館日＝1、9、15、22、29日

愛知県児童総合センターは「あそび」をテーマにした県立大型児童館です。1996年の開館以来、子どもと大人がともに、心と身体をフルに活用して遊ぶことで、新しい気づきが実感できる時間と空間を提供しています。また、遊具や遊びのプログラム開発、よりよい児童環境のためのネットワークづり、セミナー・研修、調査・資料収集、移動児童館など多岐にわたる活動を行っています。

公共交通機関で…　地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」からリニモ「愛・地球博記念公園」駅下車

車で…　東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手IC から足助方面すぐ（愛・地球博記念公園 北駐車場利用）

編集・発行：愛知県児童総合センター（公益財団法人愛知公園協会）

公園、庭、運動場・・・身近なすぐそこここに「土」はあります。
コンクリートで覆われている道路でも、その下には「土」があって私たちの足元を支えています。
サラサラ、ドロドロ、カチカチ、ボロボロ、いろいろな手触りがあり、
白や黄色、褐色や黒といった実にさまざまな色の土があります。

そして土を手のひらで包んで鼻に近づけた時の、落ち着くような懐かしいような、あの土の匂い。
多様な表情を見せてくれる「土」は、私たちの五感を解放し、ひたすら夢中にさせてくれます。
身近にあって、なくてはならなくて、そしてとても魅力的な「土」をテーマにしたあそびを集めました。
土の粘土のあそび、土の質感や色を楽しむあそび、ほかにも土のいろいろな魅力を発見するあそびなど、
身体中で土に触れて、親子であそんでみませんか。

親子であそぶ!
土・泥・ねんど
つち　どろ

2018.7.21 |土| −9.2 |日|

愛知県児童総合センター（愛・地球博記念公園内）

開館時間＝9:00−17:00　会期中休館日なし
入場料＝中学生以下無料、その他300円

主催＝愛知県児童総合センター（公益財団法人愛知公園協会）

Aichi Children's Center

子どもとおとな、ドキドキ発見!

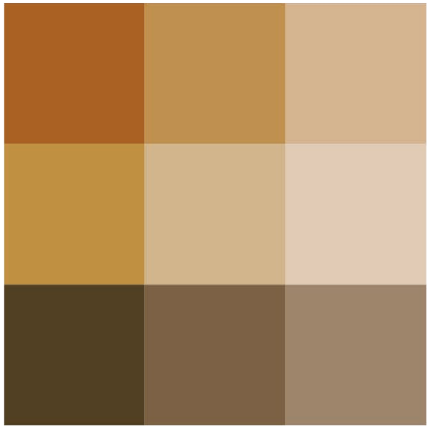
ACC
Aichi Children's Center
レター
News Letter vol. 31
2018 夏

夏季特別企画
親子であそぶ!
土・泥・ねんど

特集 |
セルフタイマーで撮る
「家族のうれしい顔」写真

特集 | 春季特別企画
もじ・モジ・ファクトリー

子育てのおはなし 第31話
募集とお知らせ



愛知県児童総合センター

セルフタイマーで撮る「家族のうれしい顔」写真

毎年5月5日は「こどもの日」。子どもの健やかな成長を祈る日です。そして、この日からの1週間は、子どもたちが笑顔で暮らせるように子どもや家庭についてみんなで考える「児童福祉週間」です。さらに、写真家のブルース・オズボーンさんが呼びかけたことで、7月の第4日曜日が「親子の日」になりました。年に1度、親と子がともに向かい合い、すべての親子の絆が強められたらすばらしい、そんな願いが実を結んで2003年に産声をあげたのが、「親子の日」です。

愛知県児童総合センターでは毎年、「児童福祉週間」と「親子の日」に合わせて、「家族のうれしい顔」写真を募集してきました。センター内に設置された特設撮影ブースで、家族の1人がセルフタイマーを使って撮影します。写真館などで撮る写真と違い、家族の誰かがシャッターを担うことで、家族全体が楽しい雰囲気に包まれます。「もっと近づいて！」「せーのでジャンプするよ！」などなど、家族のチームワークが発揮されるのもこのプログラムの素敵なところです。できあがった写真を見る時、どの家族もとても嬉しそうです。それは、子どもたちがいずれ成長し、「家族」も少しずつ移り変わっていくことを知っているからです。このひと時をかたちに残し、絆を改めて感じることができた嬉しさなのではないでしょうか。

毎年250組を超える「家族のうれしい顔」写真が集まります。愛知県児童総合センター内や地域のショッピングセンターなどで、「家族のうれしい顔」写真展を開催しています。写真を見ることで、温かい気持ちになったり、懐かしい気持ちになったり、見る人それぞれが「家族」に対する想いを深めてもらえればうれしく思います。

春季特別企画

もじ・モジ・ファクトリー

Moji・Moji・factory

「もじ」をテーマにしたあそびの工場「もじ・モジ・ファクトリー」では、今までにない「もじ」をつくったり、「もじ」の新しい書き方を発明したり、動く文字をみてみたり、いろいろな「もじ」のあそびが生まれました。ただ何かを伝えるために存在するだけじゃない、「もじ」の新しい可能性がひろがりました。

平成30年度春季特別企画として実施しました。

ハンティングワードX

人気のあそび「ハンティングワード」の高難易度バージョン。10コの文字を探して並び替えて一つのことばをつくります。

どばん

硬い土の板をひっかいて文字を彫り、柔らかい粘土を押しあてて、彫った文字をうつします。

はんがモジ

いろいろな素材を貼りつけて文字をつくり、インクをつけて紙にうつします。

もじ・モジ・リサイクル工場

［もじ収集所］チラシや新聞から文字を切り抜く　［もじ分別所］集めた文字を五十音に分別する　［もじ再生所］切り抜いた文字を使ってオノマトペをつくる

チラシや新聞から文字を切り抜いて集め、その文字を並べてオノマトペのカードをつくります。

よめない文字

適当に切った紙をくみあわせて「読めない」文字をつくります。

●あつまるあそぶプログラム　●たべるあそぶプログラム

ことばのつみき

文字がついたダンボールの積み木であそびます。

もじピン

穴のあいたボードにピンをさして文字をつくります。

おおきなもじ

ほうきやモップなど身の回りのものを使って、大きな紙に、大きな文字を、体いっぱい使って思いっきり書きます。

もじキリッ

色の違う生地を重ねてから、糸で「キリッ」と切ると文字がキレイに出てきます。

●アーティストプログラム　●特別プログラム

味岡伸太郎さんの「大きな春の文字をつくろう」

タイポグラファーである味岡さんが考えた6コのパターンを使って、春をイメージした大きな文字をつくりました。

チーム○△□の「うごくモジ!?」

土の粘土を使って少しずつ動かして撮影するストップモーションの方法で、文字のアニメをつくりました。

もじのアニメ

NFBCカナダ国立映画制作庁の16mmフィルムの中から、文字がテーマの映画を上映しました。＊上映作品（アルファベット）（E）《算数あそび》など。実施：チーム○△□

子育てのおはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第31話

いやいや期

「いやいや期」の呼び方について、論議が起きています。自我が芽生えて、自分を主張するという人生においてとても大切な意味のあるこの時期を、「いやいや」という名前では、何かちょっと悪いことのように受け取られかねない、自分で何でもやりたいという気持ちを表す「じぶんで期」と呼んだ方が適切ではないかというものです。確かに、自分の子どものことを思い出してみても、2歳前後、何でも「(じ)ぶんで」「(じ)ぶんで」と回らない舌で言っていたかわいい時期でした。

ひと昔前は（いまでもかな?）少し時期的に広いかもしれませんが、「第1次反抗期」と呼ばれていました。人は大人になるのに、親（あるいは最も信頼する人）との間で、何度もくっついたり離れたりを繰り返します。「いやいや期」が済んだからもう思春期の「第2次反抗期」への道をまっすぐ歩んでいくわけではありません。何度も何度も、親に接近し、親を確認し、振り返って自立に向かっていきます。

そのそれぞれの時期に、「ああ、今はこれが必要なんだなあ」とゆったりと受け止めてくれたら、子どもは安心して自立に向かっていけますね。先が見えないから「いつまでもこれが続くのでは」と不安になることもありますが、ちょっと誰かに話してみてください。きっと違う景色が見えてきます。

募集とお知らせ

トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが“一緒に”楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。
夏休みは日曜日に開催するので、平日では参加できなかった方もトコトコプログラムにぜひ遊びに来てみてください。

7/4（水）　11:00～　えのぐであそぶ
7/11（水）11:00～　土ねんどであそぶ
7/18（水）11:00～　水であそぶ
8/5（日）　11:00～　つみきであそぶ
8/19（日）11:00～　つみきであそぶ

対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親
定員：15組程度
参加費：無料（入場料300円が必要）
受付：プログラム開始30分前から
　　1Fインフォメーションにて先着順
※受付時刻に参加希望者が定員以上の場合は抽選を行います。

「つみきであそぶ」

あのねっとクラブ ～親子で遊ぶクラブ活動～

わくわくするような感覚あそびを中心に親子で楽しく遊ぶ5回連続の講座です。子どもの新しい姿を発見し、親同士で交流を深めることができます。子どもたちにとっては、人や場に親しみ思い切り遊ぶ体験の場となります。

第1回「ウゴイテ！あそぶ」
第2回「ヘンシン！であそぶ」
第3回「パパのクッキングタイム＋ママのジブンジカン」
第4回「えのぐ！であそぶ」
第5回「音♪であそぶ」

開催日：
●アサカラコース／10:00～11:30
9/5、9/12、9/17（月祝 10:00～12:00）、9/26、10/3

●ヒルカラコース／13:00～14:30
9/5、9/12、9/22（土 10:00～12:00）、9/26、10/3

場所：愛知県児童総合センター
対象：2歳半～3歳の子どもと親
（平成26年10月～平成28年3月生まれ）
5回のプログラムに全て参加できる方。
※第3回はお父さんの参加が必要です。
定員：各コース15組（どちらか選べます）
託児：アサカラコースのみあり：5組まで
（希望者多数の場合は抽選）
参加費：無料（入場料300円が必要）
受付期間：7月3日（火）～7月24日（火）

申込方法：メールにて受付
anonet-club@acc-aichi.org

①@acc-aichi.org を受信可能設定する
②空メールを送る
③返信されたメールに、必要事項を書き込み送信する
④受信完了メールが届く
※応募多数の場合は、抽選となります。
※結果はメールにてお知らせ。参加決定者には必要書類を郵送いたします。

移動児童館・ゆめたま号 7月～10月の開催地決定

児童総合センターの遊びを「ゆめたま号」に乗せて児童館へ運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人が一緒になって遊ぶプログラムです。遊びをとおして、たくさんの出会いを楽しみにしています。

開催地：
7/10（火）　大口町 大口北児童センター
7/30（月）　江南市 古知野西小学校（こども政策課）
8/8（水）　日進市 北部福祉会館
8/21（火）　岡崎市 六ッ美北部学区こどもの家
8/29（水）　春日井市 グルッポふじとう児童館
9/5（水）　稲沢市 長野子育て支援センター
9/15（土）　高浜市 翼児童センター
9/29（土）　豊明市 ひまわり児童館
10/4（木）　南知多町 豊丘むくり会館
10/13（土）知立市 南児童センター
10/20（土）岩倉市 第六児童館

お父さん応援プログラム アナログカフェ

毎月第3日曜日だけオープンする「アナログカフェ」は、お父さんと子どもでボードゲームやカードゲームなど、アナログなあそびを楽しむことができる空間です。その間、お母さんはのんびり館内で過ごしてください。

日時：毎月第3日曜日 13:30～15:30 随時参加
場所：2F「コラボラボ」 対象：小学生とその父親
参加費：無料（入場料300円が必要）

「アナログカフェ」

※プログラムは予告なく変更する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。